

平成12年12月  
担当：公安調査庁

## 平成13年版「内外情勢の回顧と展望」全文

はしがき

平成12年は、小淵首相の緊急入院・死去、森新政権の誕生、第42回衆議院議員総選挙の施行、「九州・沖縄サミット」の開催、大手企業の相次ぐ経営破綻など、様々な動きがあった。こうした情勢の下で、オウム真理教は、観察処分に付されながらも信徒拡大、新施設の確保、資金獲得活動に取り組むなど積極的に組織強化を図った。また、過激派、右翼などの諸団体も、内外の諸問題をとらえてそれぞれ活発な活動を展開した。

一方、国際情勢では、朝鮮半島で南北首脳会談が開催されるなど対話・交流の気運が高まった反面、台湾で独立志向の政権が発足したため中台関係が一時緊張したほか、中東・アジア地域ではイスラム原理主義に触発された民族・宗教紛争が激化した。

この「内外情勢の回顧と展望」は、こうした平成12年の諸動向を回顧するとともに、平成13年の内外公安動向を展望したものである。

### 目 次

#### 第1 国内関係

##### 概 況

- 1 オウム真理教に対して団体規制法に基づく「観察処分」を決定
- 2 最高幹部・上祐史浩の復帰で組織立て直しを図るオウム真理教
- 3 オウム真理教が「サイバー教団」の実現に向け取組を活発化
- 4 「九州・沖縄サミット」をめぐり諸勢力が様々な活動を展開
- 5 第42回衆議院議員総選挙をめぐる諸団体の動向
- 6 “ソフトな装い”を強めつつ、革命党の性格を堅持する共産党
- 7 21世紀を見据え組織強化に努める過激派
- 8 過激派は成田暫定滑走路建設工事に反発
- 9 凄惨な内ゲバ抗争を繰り広げる革労協解放派
- 10 「北朝鮮問題」、領土問題を中心に活動した右翼団体
- 11 社会との軋れきを顕在化させた特異集団

#### 第2 国際関係

##### 概 況

- 1 南北首脳会談を機に流動化する朝鮮半島情勢
- 2 北朝鮮、既存体制堅持に腐心
- 3 朝鮮総聯、南北首脳会談を追い風に組織強化を企図
- 4 中国、「三つの代表」理念で党指導部世代交代へ向けて始動
- 5 民進党政権の発足で波乱含む台湾海峡情勢
- 6 海洋強国を目指し活動範囲を拡大する中国
- 7 停滞感の払拭を目指すロシアのプーチン政権
- 8 インドネシアの政情不安が周辺地域を不安定化
- 9 混迷の度合いを増す中東和平
- 10 拡大する国際テロのネットワーク
- 11 日本赤軍、「よど号」グループ、内外の支援勢力結集を目指す
- 12 経済のグローバル化に対する反発の高まりと過激化